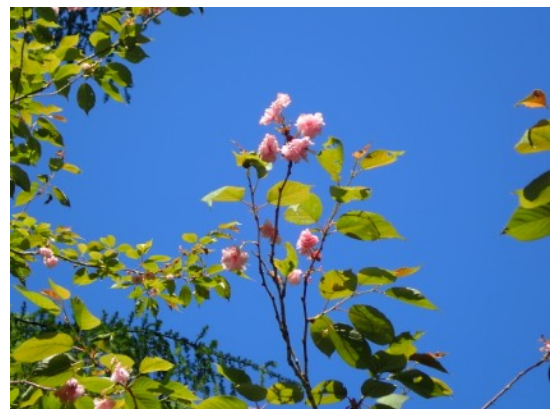


Wcamp 2 2021/24/-25 ホールの庇（ひさし）作り、タイルの目地施工、林道整備、

5月は新緑が映えて、花も咲き、小鳥や小動物も森の中で生き生きしています。大自然のひろばはまだ気温が低くて、朝夕は薪ストーブが必用ですが、昼間は空気が澄んでいるからか日差しが強く汗ばむほどです。野辺山から見た八ヶ岳は雲が山肌を越えるさまが、綿をかぶったようでした。ログハウス前の桜が満開で、散り始めていました。今年は良いタイミングでひろばのお花見をすることが出来ました。青空に浮かんでピンクの花がきれいです。

今回のワークキャンプは風雨を防ぐためにホールの玄関に庇を設置する。台所・調理台のタイルに目地を入れてコーキングを行い仕上げる。林道に落ちている葉っぱや枝などを取り除いて走行しやすくするなどです。時間があれば薪作りと材料などの片付けも行いたいと思います。

松田の家を4時20分発・山荘に8時到着！気温10℃天候は快晴。荷物と食料をログハウスに運んで収納、キャビン・倉庫・ホールの解錠をして、今日は天気が良いので窓を開けて換気を行うことにしました。前回設置した庇の基礎はコンクリートが固まって、しっかり固定されていました。この上に



庇を作っていきます。9時ごろに尾方さん到着！今日は基礎の上に柱を立てて、屋根まで作る予定です。ホールを建築した材料も残り少なくなっているの、節約しながら尾方さんが工夫して間柱などをきざんでいきます。上がり口には茨城の友人から頂いた運送用のパレットを置いて雨が降っても泥がはねないように工夫しました。午前中に柱と屋根の骨組みが出来たので午後からは屋根材を固定します。

昼食は「サンマーメン」

本当はコンパネなどで屋根の下地を作るのですが、もう材料が無いので、骨組みにそのまま屋根材をビス留めしていきます。屋根材はホールに使ったものと同じフランス製の「オン



チュリン」（耐用年数50年）8枚を使用しました。

15時には作業終了！現場の片付けをして明日の準備を行います。薪をログハウスに運んで夕食の準備



日が暮れると冷えてきたので、薪ストーブを焚きます。夕食はパンとスープに、鯖の缶詰を頂きました。22時就寝。

5月24日(月) 5時30分起床 はれ 外気温8℃ 室内16℃

4時ごろから明るくなり、森から色々な野鳥の鳴き声が聞こえてきます。野鳥の鳴き声で名前がわかると良いな～などと考えていました。少し冷えるので薪ストーブを焚いて、お茶を飲み身体を起こします。朝食は野菜ジュースとヨーグルト。星尾林道から山荘までの小道に枝や倒木などが落



ちていて通行の妨げになるので、1時間ほどかけて道の整備を行いました。枝と行っても唐松の落枝の太さは大人の前腕ぐらいあり300mある小道を「レイキ」で整備して行くと汗ばんできます。毎回の繰り返しですが、林道までの整備を終えると何か良い気分になります。一休みしてから、尾方さんが来る前に台所の調理台に貼ったタイルの目地を埋めて、流し台やタイルの縁をコーキングします。目地材は直ぐに汚れるので「灰色」にしました。昼ぐらいには乾くと思います。そうしたら、タイルを拭いて仕上げます。

9時ごろに尾方さん到着、玄関の側面にポリカーボン製の透明トタンを設置します。私は材木の整理と使用する材料をそろえるために倉庫で作業。ホットドッグで軽い昼食をして14時には立派な玄関が完成しました。お疲れ様でした。尾方さんと次回の打ち合わせをして帰宅。19時には松田に到着できました。次回は倉庫の屋根を貼ります。



